

横河電機株式会社

平成21年3月期 第3四半期
決算説明会



2009年2月10日

取締役 専務執行役員 八木 和則



YOKOGAWA

- 1. 実体経済と資金調達環境の悪化により、設備投資が減速。さらに円高が急速に進行し、受注高、売上高が減少**
 - 制御事業：国内市場の縮小、海外市場における投資の先送りと円高の影響により、受注高が減少に転じ、売上高の伸びも減速。営業利益も減少
 - 計測機器事業：半導体市場の冷え込み、企業の設備投資の抑制により、半導体テスタ、測定器とも受注高、売上高が落ち込み、赤字が拡大
 - 新事業その他：フォトニクスビジネスの受注が好調な一方で、それ以外のビジネスが伸び悩み、受注高・売上高とも減少、利益は微減
- 2. 売上減と円高により営業利益が減少したことに加え、投資有価証券評価損40億円を特別損失として計上したこと、繰延税金資産のうち305億円を取り崩したことから、当期純利益が減少**

(億円)

	FY07 3Q	FY08 3Q	FY07 1-3Q	FY08 1-3Q
受注高	1,105	825	3,390	2,982
売上高	882	761	2,925	2,729
営業利益	3	▲58	91	▲8
経常利益	▲6	▲103	51	▲59
当期純利益	▲8	▲410	19	▲372



FY08 3Q 経営成績(対計画比)

(億円)

	FY08 計画 08/10/28	FY08 実績				達成率
		1Q	2Q	3Q	9ヶ月累計	
受注高	4,470	1,119	1,038	825	2,982	66.7%
売上高	4,240	835	1,133	761	2,729	64.4%
営業利益	180	▲43	93	▲58	▲8	—
経常利益	160	▲35	79	▲103	▲59	—
当期純利益	50	▲18	56	▲410	▲372	—

◆事業環境の悪化及び円高の影響により、受注高、売上高が減少

◆売上高の減少、円高による営業利益の減少に加え、為替差損38億円、投資有価証券評価損40億円の計上、繰延税金資産の取り崩し305億円により、当期純利益が大幅に減少



FY08 3Q 経営成績(対前年同期比)

(億円)

	FY07 3Q	FY08 3Q	増減率	差異
受注高	1,105	825	▲25.3%	▲280
売上高	882	761	▲13.6%	▲121
営業利益	3	▲58	—	▲61
経常利益	▲6	▲103	—	▲97
当期純利益	▲8	▲410	—	▲402

◆事業環境の悪化により、11月以降、受注高、売上高が減少

◆売上高の減少と円高の進行により、営業利益が減少



FY08 1Q-3Q 経営成績(対前年同期比)

(億円)

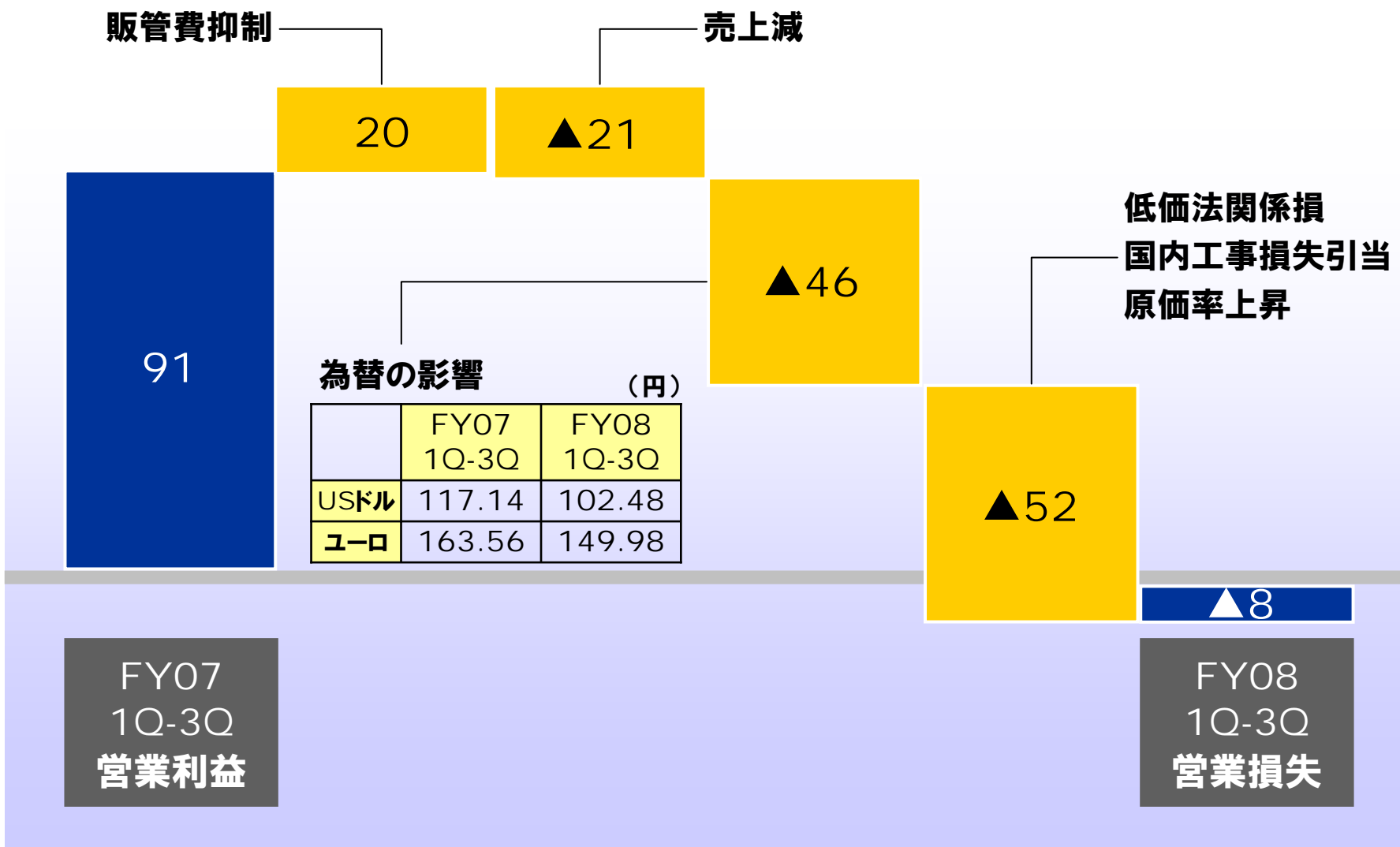
	FY07 1Q-3Q	FY08 1Q-3Q	増減率	差異	
受注高	3,390	2,982	▲12.0%	▲408	
売上高	2,925	2,729	▲6.7%	▲196	
営業利益	91	▲8	—	▲99	
経常利益	51	▲59	—	▲110	
当期純利益	19	▲372	—	▲391	
為替レート	1\$= 1€=	117.14円 163.56円	102.48円 149.98円	—	▲14.66円 ▲13.58円

◆円高の影響により、受注高、売上高が減少

◆3Qの市場環境の悪化により、2Q末時点よりも、前年同期との差が拡大

FY08 1Q-3Q 損益分析

(億円)





FY08 1Q-3Q 営業外・特別損益比較 (対前年同期比)

(億円)

	FY07 1Q-3Q	FY08 1Q-3Q
営業利益	91	▲8
営業外収益	21	17
営業外費用	60	68
経常利益	51	▲59
特別利益	15	16
特別損失	22	62
税引前利益	44	▲105
法人税等	25	267
当期純利益	19	▲372

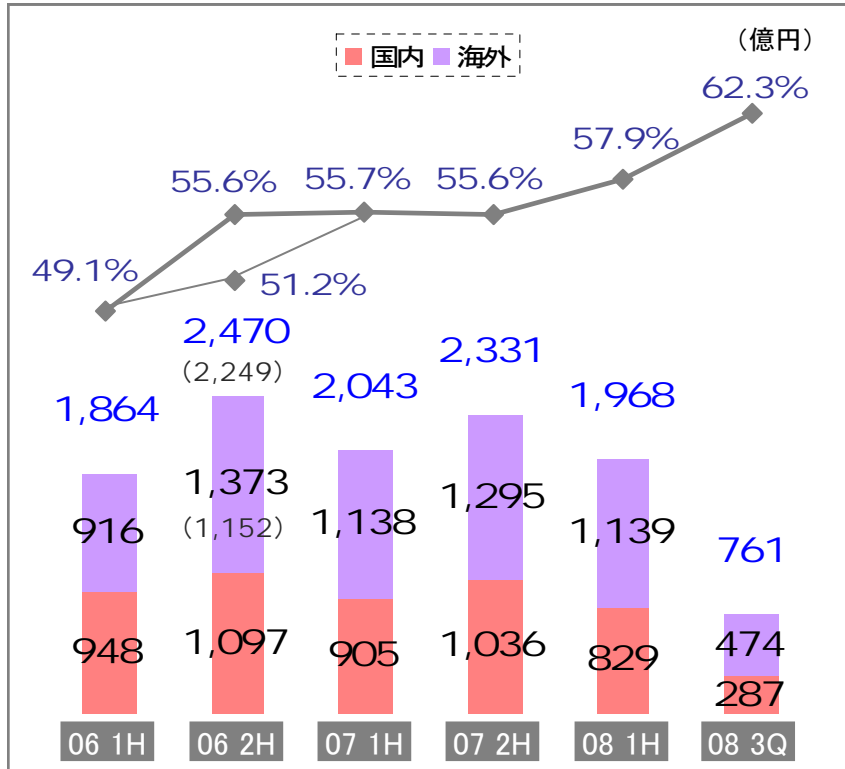
支払利息:11億円
為替差損:38億円

固定資産除売却損・
減損損失:9億円
投資有価証券評価損:
40億円

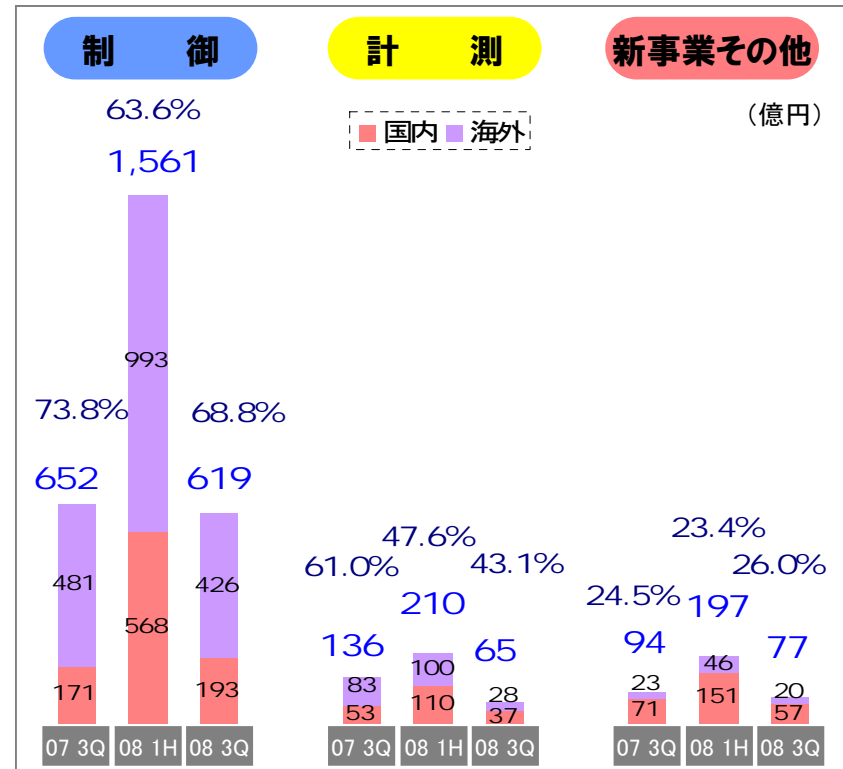
- ◆為替差損が前年同期比で24億円増加
- ◆投資有価証券評価損が前年同期比で39億円増加
- ◆将来の課税所得の見積もりが困難となったことから繰延税金資産のうち305億円を取り崩し

セグメント別 海外売上高

全 体



セグメント別



* ()内は、海外連結子会社の決算期変更による増加分を除いた数値です。

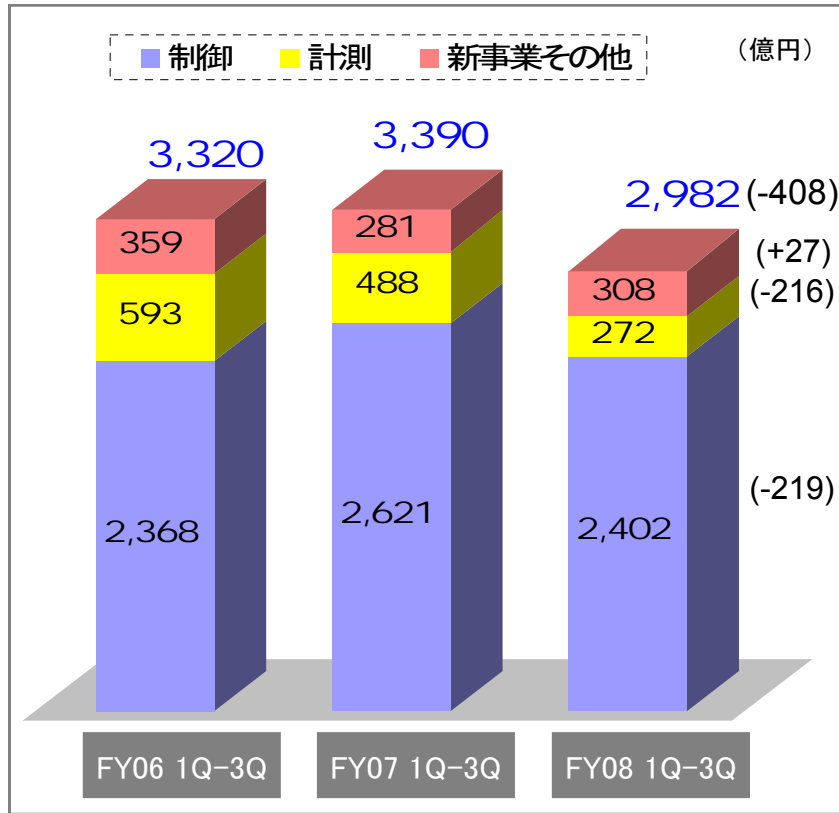
◆ 制御事業の海外売上比率は円高の影響により低下

◆ 計測機器事業は、半導体テストビジネスの低迷により、海外売上比率が大きく低下

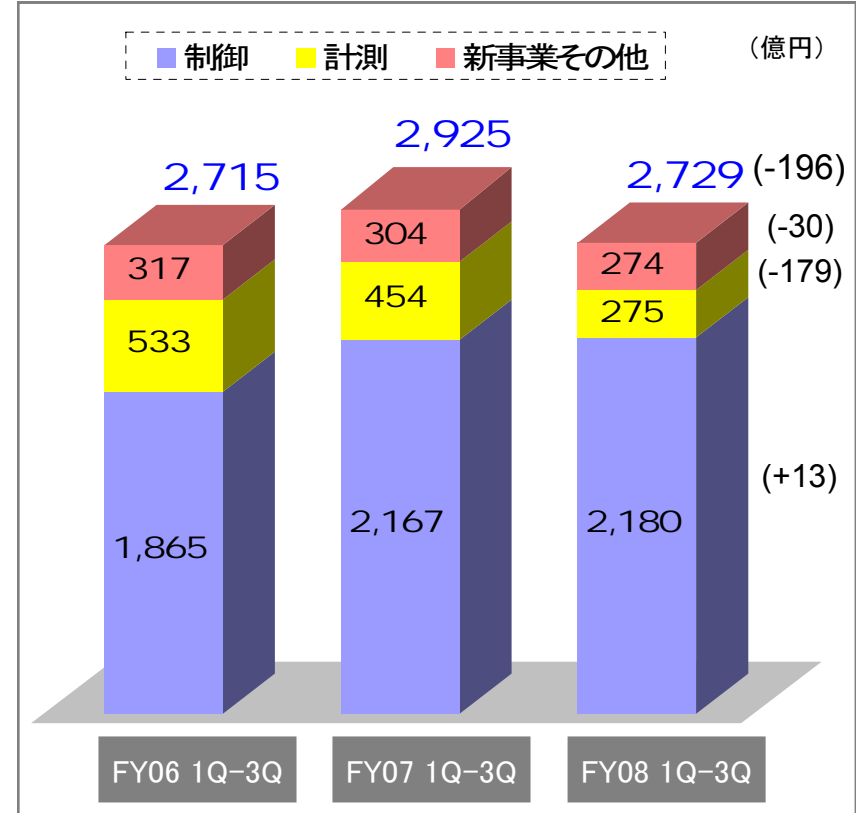


セグメント別 FY08 1Q-3Q 受注・売上実績 (対前年同期比)

受注



売上

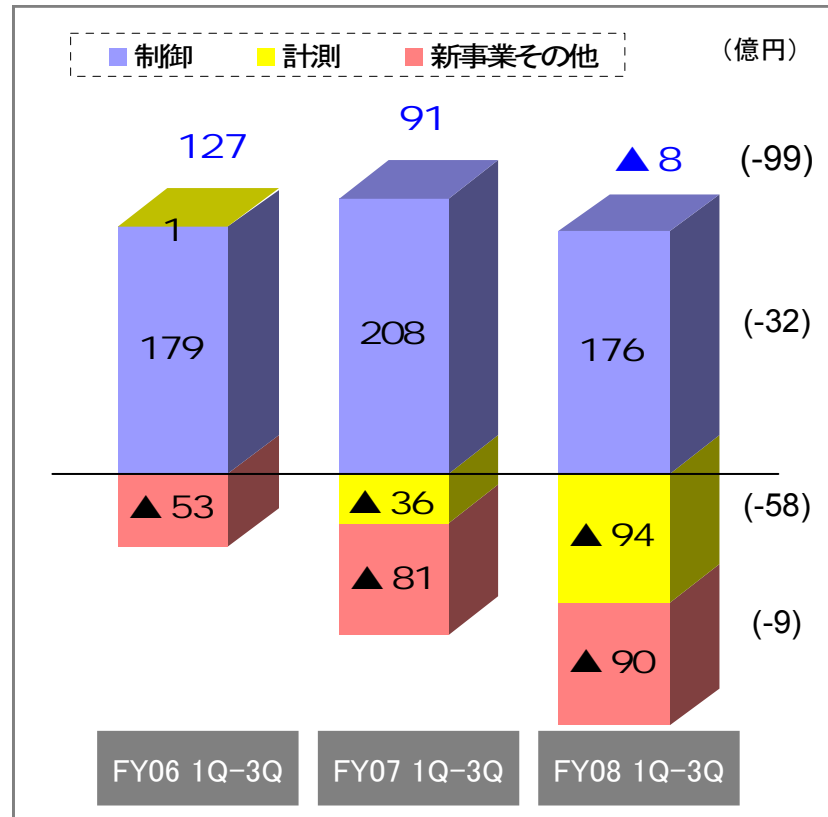


- ◆**制御**: 国内設備投資の抑制、海外でのプロジェクトの先送りや円高の進行により、受注高が減少し、売上高の伸びも減速
- ◆**計測機器事業**: 半導体テスタビジネスの受注高、売上高が減少、測定器にも設備投資抑制の影響
- ◆**新事業その他**: フォトニクスビジネスの受注が好調だった一方、アドバンスステージビジネスの売上高が減少



セグメント別 FY08 1Q-3Q 営業利益 (対前年同期比)

営業利益

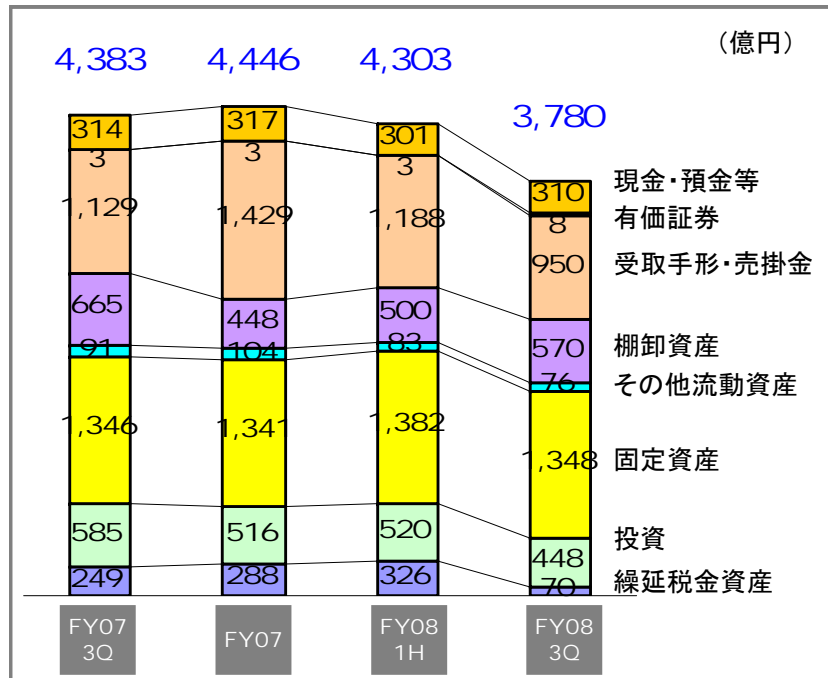


	FY07 1Q-3Q	FY08 1Q-3Q	差異
制御	208	176	▲ 32
計測	▲ 36	▲ 94	▲ 58
新事業その他	▲ 81	▲ 90	▲ 9
合計	91	▲ 8	▲ 99

- ◆ 制御: 低価法関係損、国内工事損失引当、原価率上昇により、利益が減少
- ◆ 計測機器事業: 半導体テストビジネスの売上高減少により、損失が拡大
- ◆ 新事業その他: アドバンストステージビジネスの売上高の減少により、損失が拡大

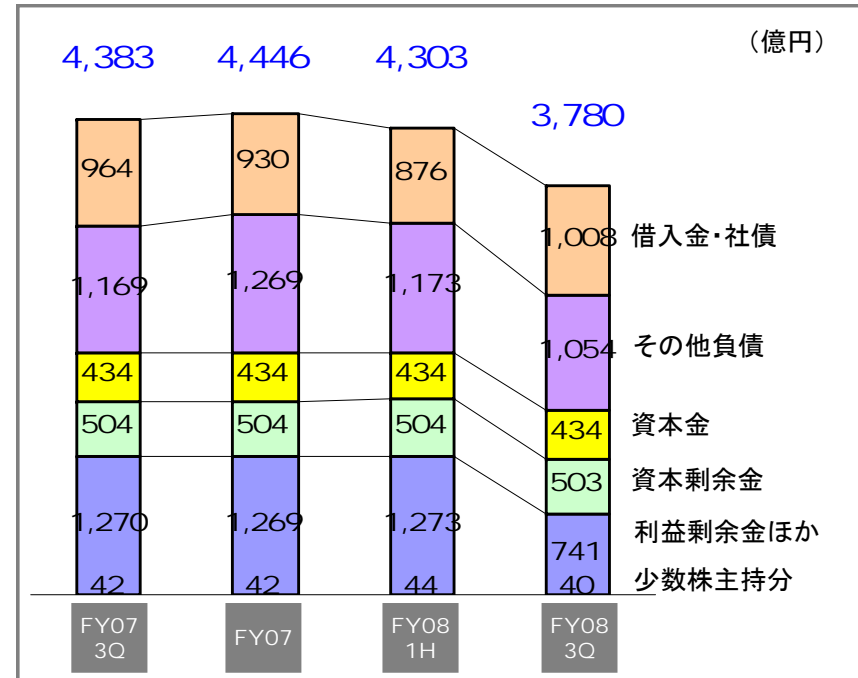
貸借対照表 推移

資産 推移



	FY07 3Q	FY07	FY08 1H	FY08 3Q
総資産回転率	—	0.99	0.99	—
自己資本比率	50.4%	49.6%	51.4%	44.4%

負債・資本 推移

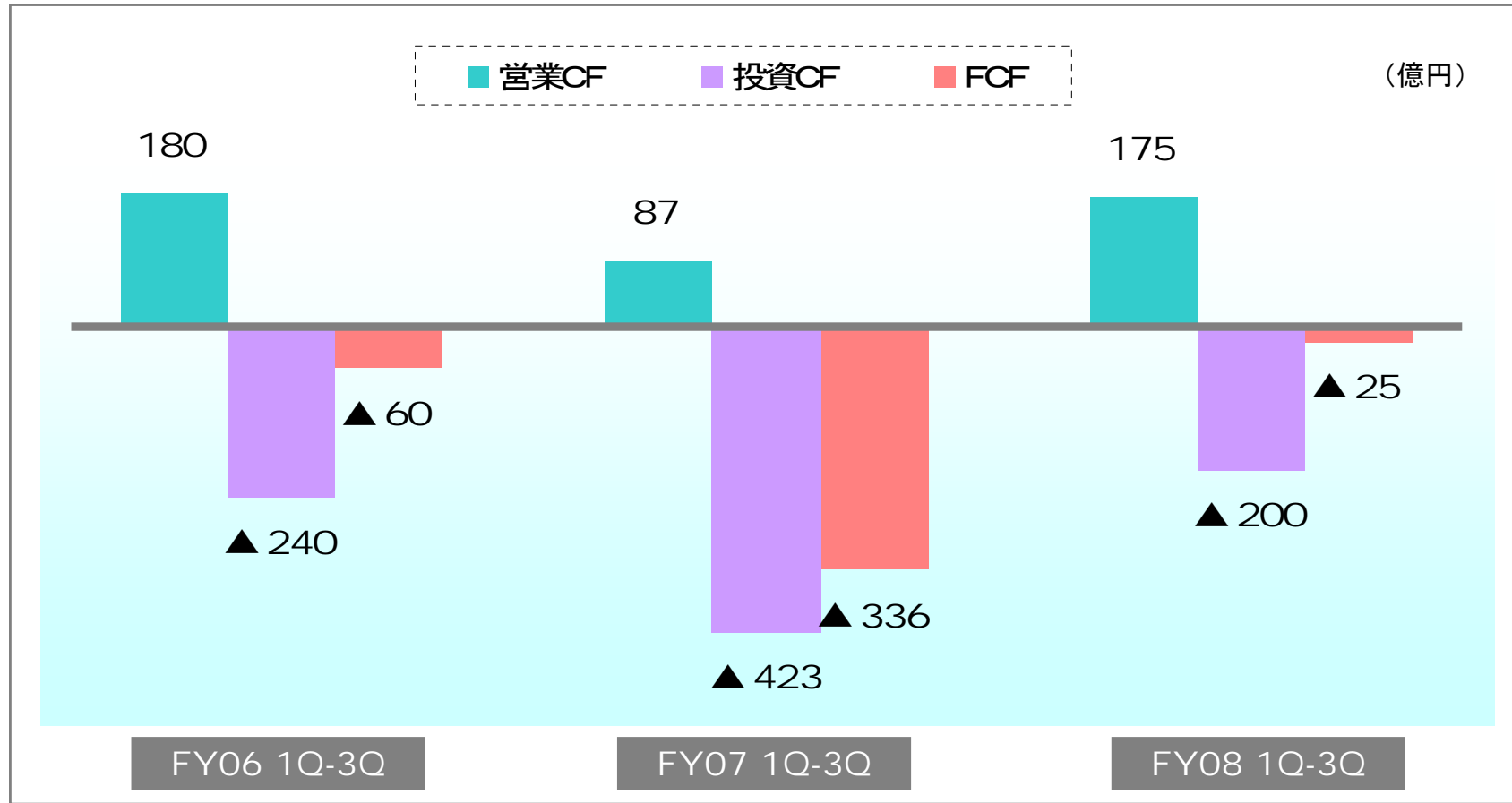


	FY07 3Q	FY07	FY08 1H	FY08 3Q
有利子負債比率	22.0%	20.9%	20.4%	26.7%
D/Eレシオ	43.6%	42.1%	39.7%	60.1%

◆繰延税金資産305億円の取り崩しにより、繰延税金資産が減少

◆利益剰余金の減少、為替換算調整勘定の減少による純資産の減少、及び借入金・社債の増加により、自己資本比率が低下し、D/Eレシオが上昇

キャッシュフロー FY06-08 1Q-3Q



◆売上債権の減少等により、営業キャッシュフローが増加

◆有形・無形固定資産の取得による支出の減少により、投資キャッシュフローは支出が減少



FY08 経営計画

(億円)

	FY07 実績	FY08					差異 (B-A)
		当初 5/13	修正 8/12	修正(A) 10/28	修正(B) 1/27		
受注高	4,551	4,600	4,600	4,470	3,830	▲640	
売上高	4,374	4,400	4,460	4,240	3,800	▲440	
営業利益	274	260	245	180	10	▲170	
経常利益	165	220	210	160	▲40	▲200	
当期純利益	117	110	110	50	▲400	▲450	
為替レート	1\$= 1€=	113.80円 162.26円	100円 155円	100円 155円	100円 125円	85円 115円	▲15円 ▲10円

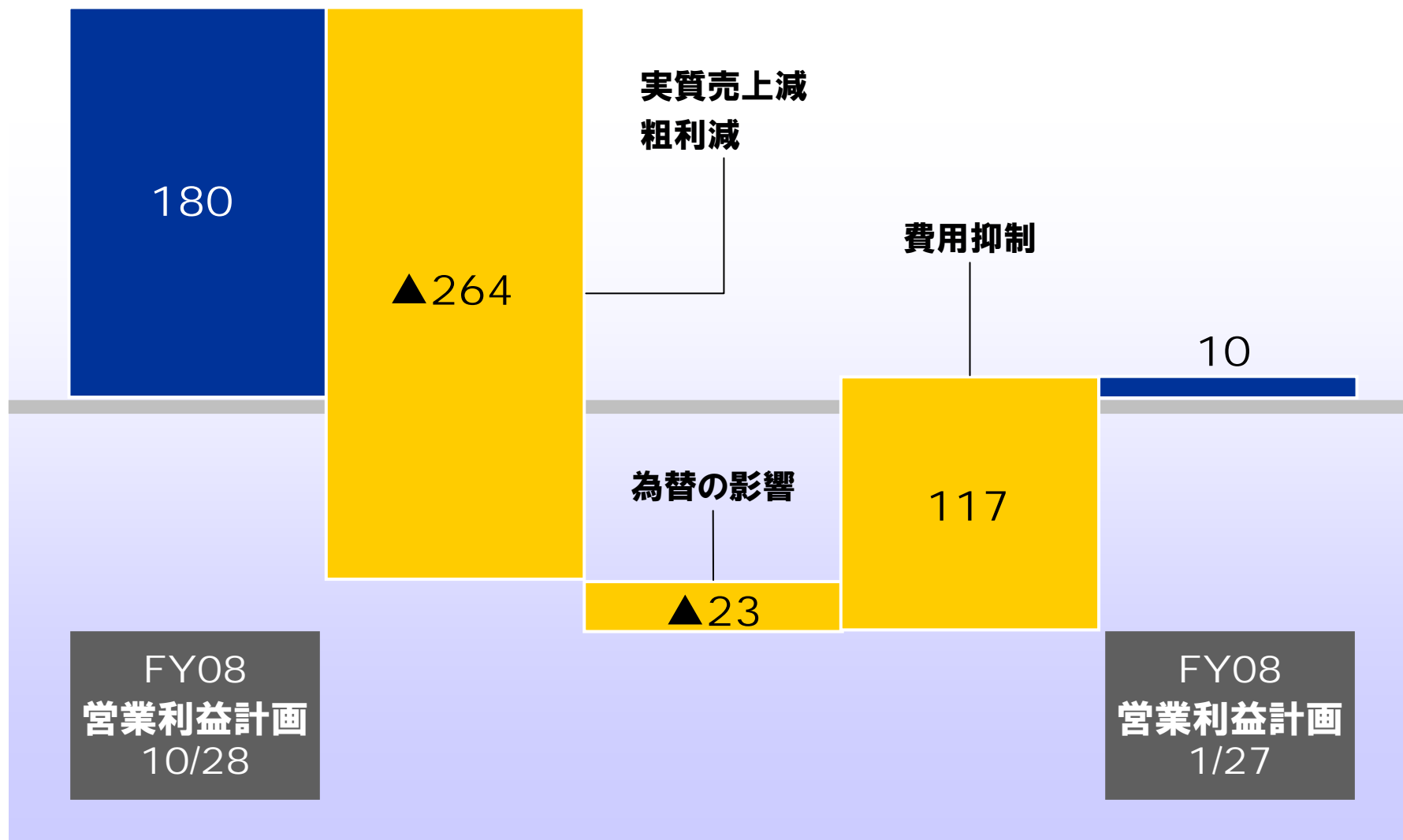
◆3Q以降の事業環境の悪化及び為替が円高に推移していることから、受注高、売上高、利益を下方修正(1月27日に発表済み)

◆繰延税金資産の取り崩しにより、当期純利益が減少



FY08 営業利益計画 差異分析

(億円)





FY08/FY07 四半期別経営成績比較

(億円)

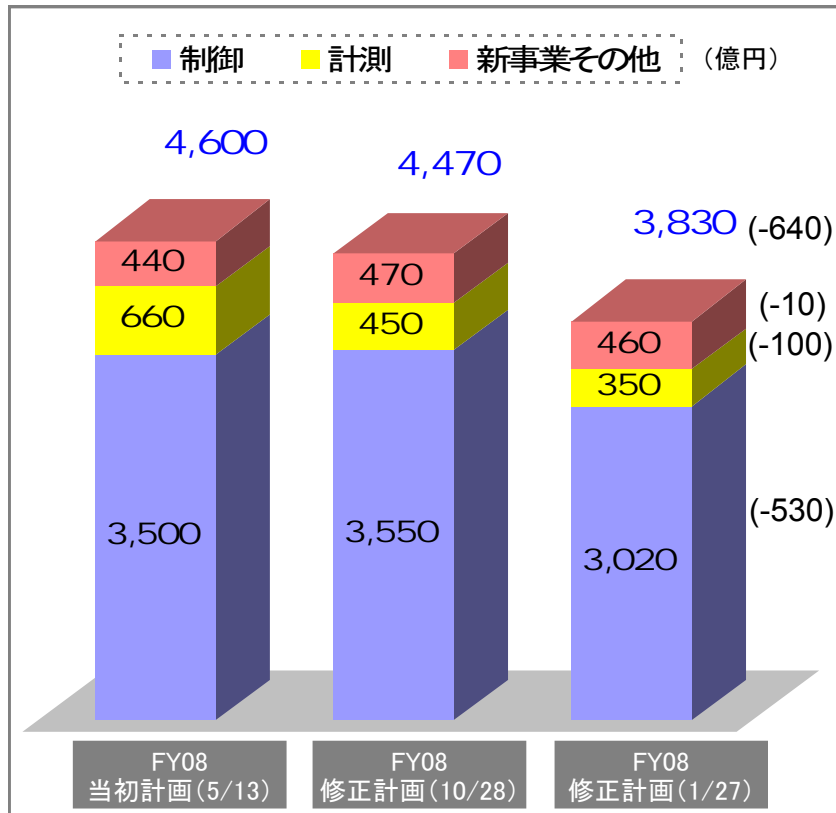
	FY07					FY08				
	1Q	2Q	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	3Q	4Q (計画)	Total
受注高	1,121	1,164	1,105	1,161	4,551	1,119	1,038	825	848	3,830
売上高	835	1,208	882	1,449	4,374	835	1,133	761	1,071	3,800
営業利益	▲4	92	3	183	274	▲43	93	▲58	18	10

- ◆売上高は、制御事業の国内売上を中心に2Q、4Q末に集中
- ◆4Qの為替レートを円高に設定したことにより、受注高、売上高が減少

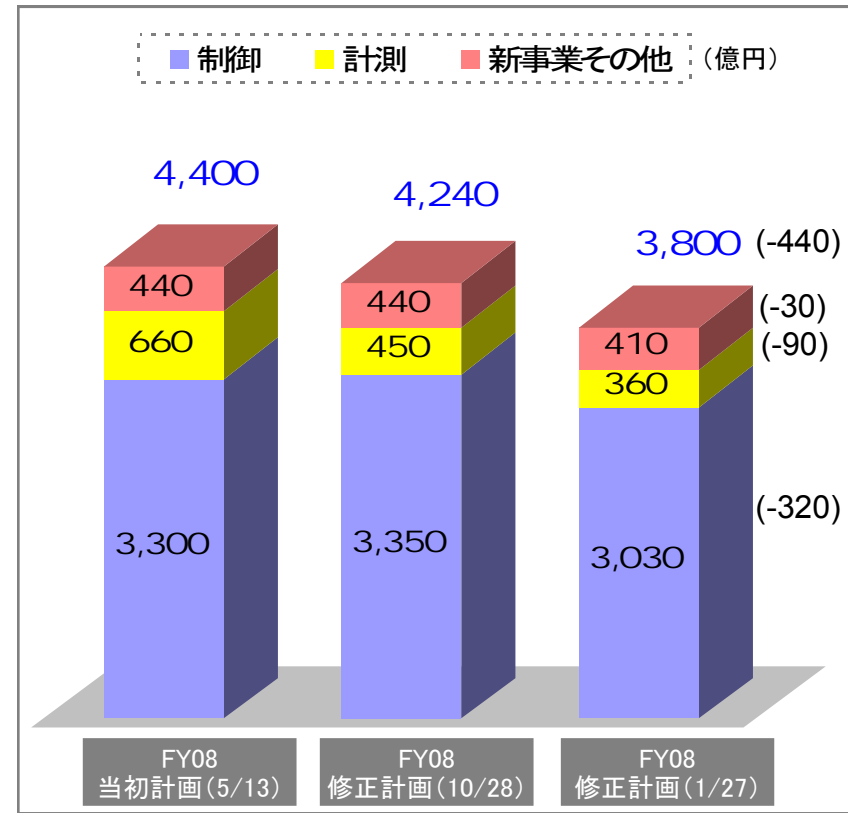


セグメント別 FY08 受注・売上 修正計画

受注



売上

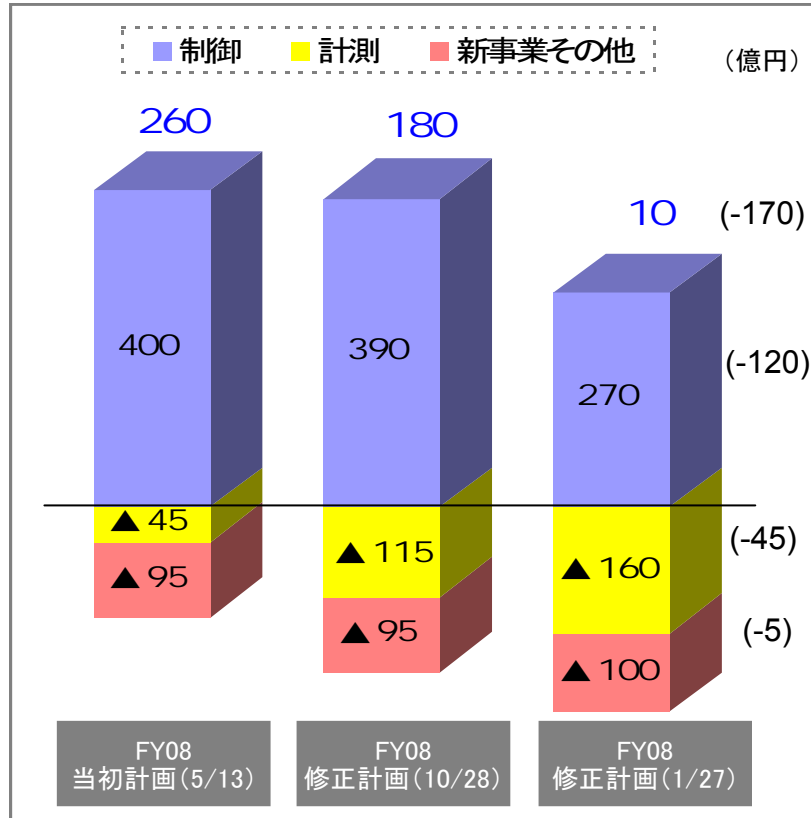


- ◆制御: 国内設備投資の抑制、海外でのプロジェクトの先送りや円高の進行により、受注高、売上高を下方修正
- ◆計測機器事業: 半導体メーカーの設備投資凍結及び測定器に対する設備投資抑制により、受注高、売上高を下方修正
- ◆新事業その他: フォトニクスビジネスの売上高の一部が来期の計上となることを考慮し売上高を下方修正

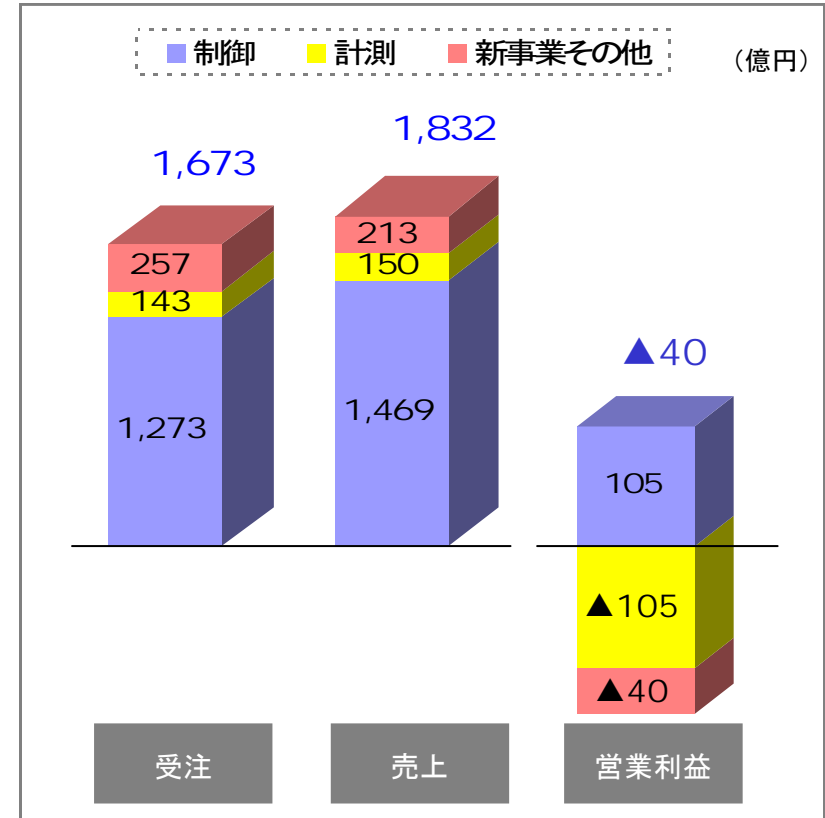


セグメント別 FY08 営業利益 修正計画

営業利益



FY08 2H



- ◆制御: 売上高の減少および円高による為替の影響により、営業利益が減少する見通し
- ◆計測機器事業: 半導体テストビジネスの赤字拡大、測定器ビジネスの低迷により、営業損失が増加する見通し
- ◆新事業その他: フォトニクスビジネスの売上高の一部が来期の計上となることから、営業損失が増加する見通し



FY08 営業外損益・特別損益 計画

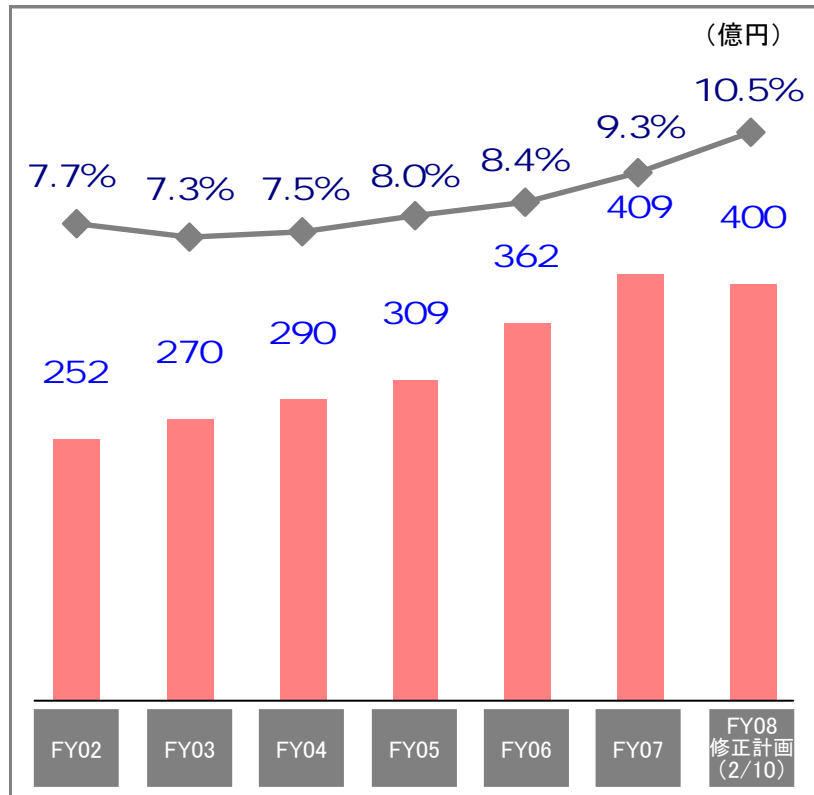
(億円)

	FY07	FY08 1Q-3Q	FY08 年間計画
営業利益	274	▲8	10
営業外収益	37	17	▲50
営業外費用	147	68	
経常利益	165	▲59	▲40
特別利益	26	16	▲60
特別損失	47	62	
税引前利益	144	▲105	▲100
法人税等	27	267	300
当期純利益	117	▲372	▲400

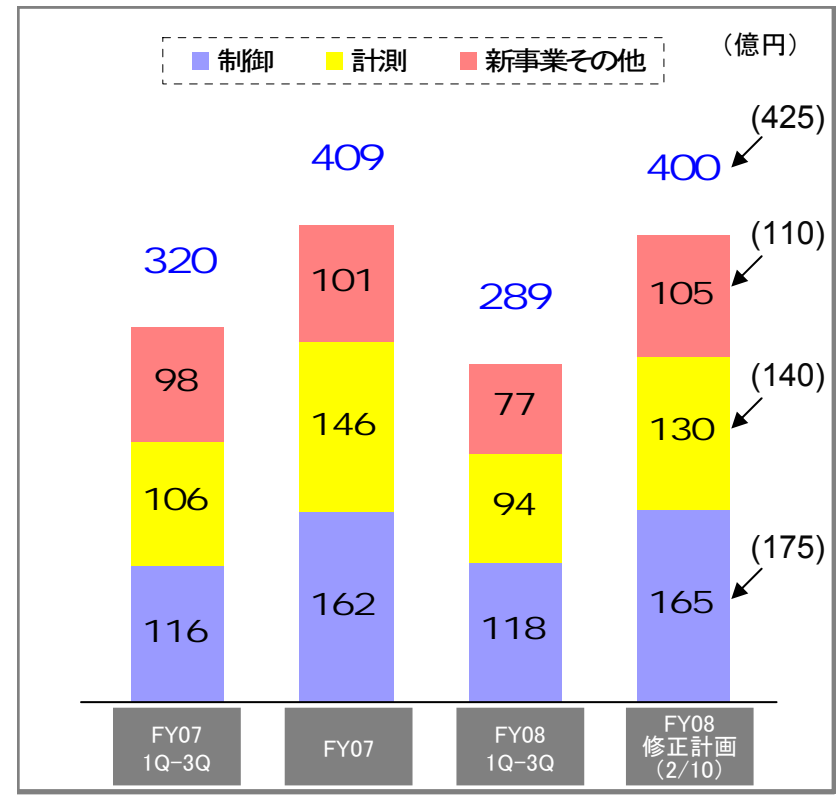
◆4Qの営業外収益・費用、特別利益・損失については、特筆すべき費用計上の予定なし

研究開発費 推移

研究開発費推移



セグメント別研究開発費

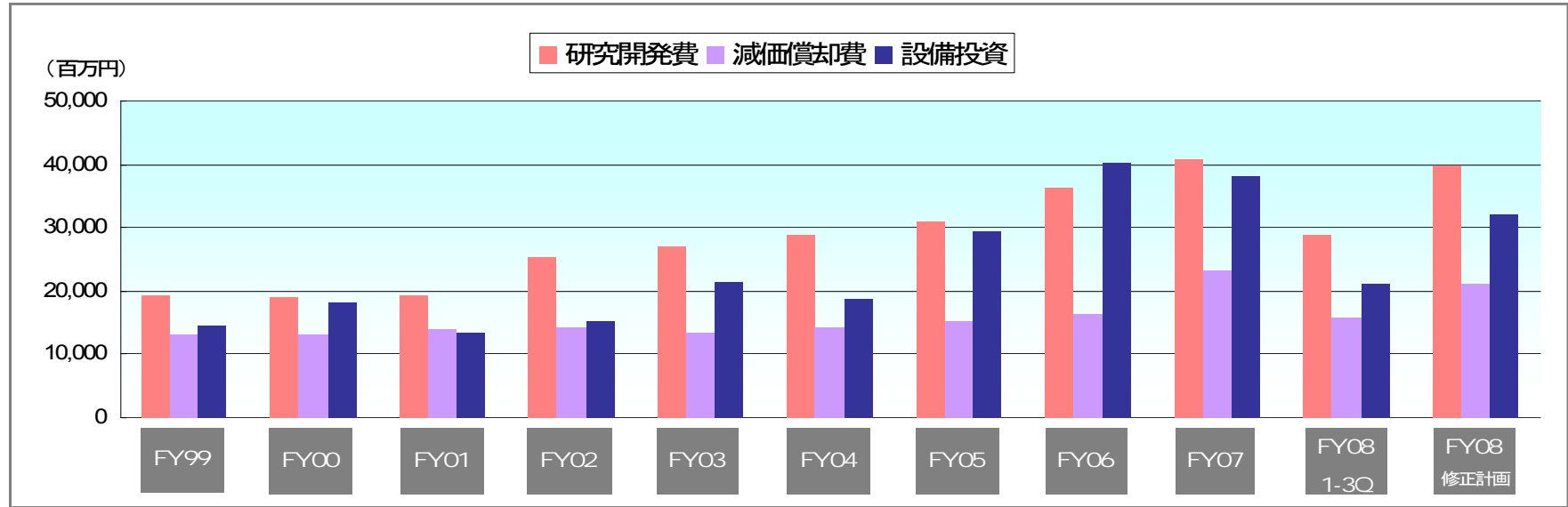


* ()内は10月28日の修正計画値

◆研究開発投資は、2Q時点で年初計画440億円を見直し425億円に削減。今回さらに400億円まで削減



研究開発費・減価償却費・設備投資の推移



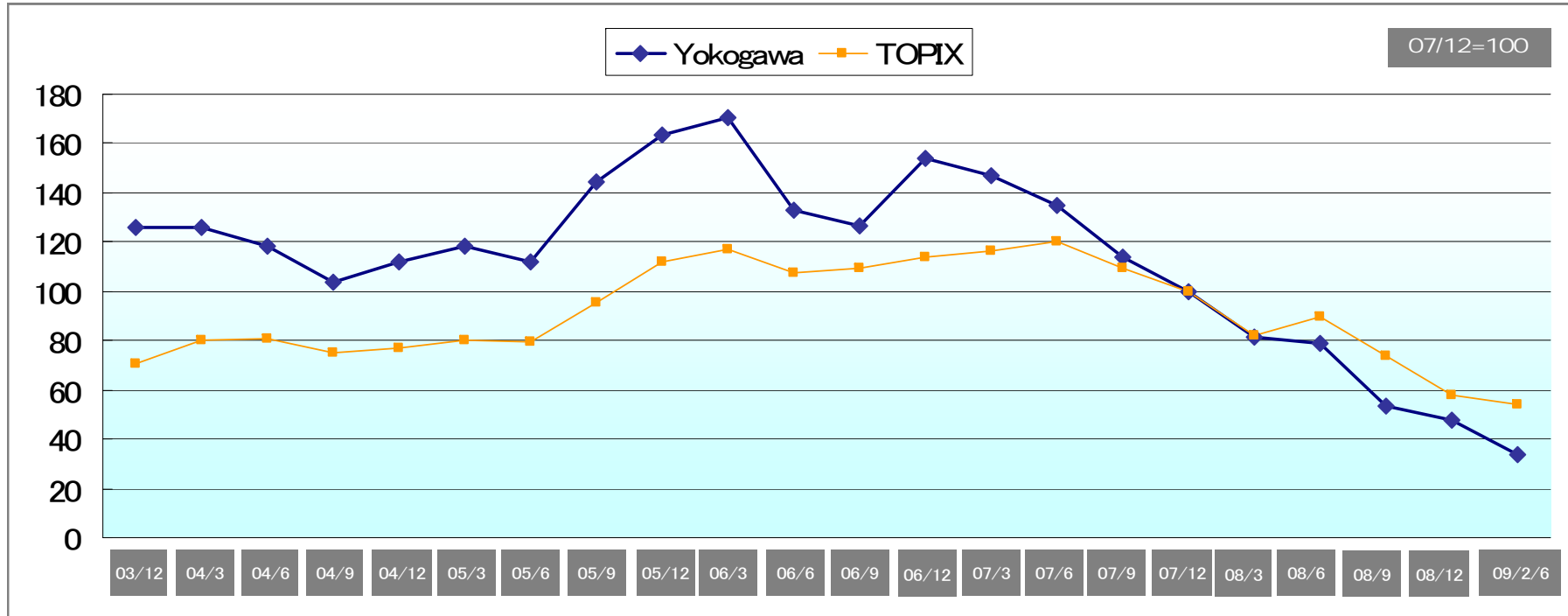
(百万円)

	実績										FY08 計画		
	FY99	FY00	FY01	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08 1-3Q	当初(5/13)	修正(10/28)	修正(2/10)
研究開発費 (対売上比)	19,259 6.1%	19,181 5.4%	19,236 6.2%	25,233 7.7%	26,991 7.3%	28,998 7.5%	30,917 8.0%	36,223 8.4%	40,875 9.3%	28,884 10.6%	44,000 10.0%	42,500 10.0%	40,000 10.5%
減価償却費 (対売上比)	13,197 4.2%	13,190 3.7%	13,964 4.5%	14,298 4.3%	13,445 3.6%	14,331 3.7%	15,124 3.9%	16,483 3.8%	23,129 5.3%	15,773 5.8%	24,000 5.5%	22,000 5.2%	21,000 5.5%
設備投資 (対売上比)	14,699 4.7%	18,173 5.2%	13,347 4.3%	15,264 4.6%	21,355 5.7%	18,652 4.8%	29,540 7.6%	40,284 9.3%	37,990 8.7%	21,188 7.8%	39,000 8.9%	37,000 8.7%	32,000 8.4%

◆研究開発投資を25億円圧縮

◆設備投資の50億円の削減により、減価償却費を10億円圧縮

株価の状況



	03/12	04/3	04/6	04/9	04/12	05/3	05/6	05/9	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/2/6
Yokogawa	1,548	1,544	1,455	1,276	1,372	1,452	1,371	1,772	2,010	2,095	1,631	1,552	1,887	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	423
TOPIX	1,044	1,179	1,190	1,104	1,139	1,180	1,177	1,412	1,650	1,728	1,587	1,611	1,681	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	791
	03/12	04/3	04/6	04/9	04/12	05/3	05/6	05/9	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/2/6
Yokogawa	126	126	118	104	112	118	112	144	164	171	133	126	154	147	135	114	100	81	79	54	47	34
TOPIX	71	80	81	75	77	80	80	96	112	117	108	109	114	116	120	110	100	82	89	74	58	54

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。